

あなたが幸せになる お金とのつきあい方

～ようこそ！あなたのハッピーフローへ～



ファイナンシャルプランナー

高田 秀美

－ 目 次 －

はじめに： 私がライフプランを選んだ理由

1. 社会に出て（20代）
2. 転職とマネージャー経験（30代）
3. ファイナンシャルプランナーとの出会い
4. ファイナンシャルプランナーへの転身

第一章： お金って何？

1. 生活のため
2. 必要なもの
3. 便利な道具
4. 感謝や応援
5. 器・大きさ
6. エネルギー

第二章： お金で動く感情

1. 不安
2. ストレス
3. 比較・競争・優越感
4. 被害者意識
5. 混乱
6. 愛・感謝
7. 「お金の不安」が大きくなる人の特徴

第三章： あなたにとっての幸せって？

1. あなたが求めているものは？
2. あなたの好きなこと・望み
3. 夢・ビジョン
4. あなたの価値観・大切にしたいこと
5. 自分の軸を持つ

第四章： 変化の時代

1. 時代の変化
2. 誰にとっても未知な世界
3. 変化に備える
4. 正解はわからない
5. ライフプラン（軸を持つ）
6. 主体的に選ぶ
7. 自分の選択に合う、お金のバランス

おわりに：

はじめに： 私がライフプランを選んだ理由

私は独立系ファイナンシャルプランナー(F P)として、いろいろな方のお話を聞いてきました。

まず初めに、どうしてこの文章を書こうと思ったか、私の話をお伝えしたいと思います。

1. 社会に出て (20代)

私は、30代前半まで、IT業界の会社員でした。一度転職もしています、20代前半の会社では、お客様にPC操作を説明したり、お客様の業務改善を提案・サポートしたり等、仕事は楽しくて、やりがいもありました。今思うと、環境にも恵まれ、尊敬できる上司と、あたたかいチームメンバーと一緒に仕事ができ、たくさんのお客様に育てていただきました。今でも感謝しています。私は、自分の仕事も、まわりの人たちも、自分の毎日も大好きだったのです。

でも、IT業界は非常にスピードの早い業界です、突然の組織変更や、担当の引継ぎ、繰り返される再編……1人1人との関係をゆっくり育んでいきたいタイプの私にとっては、毎回ツライことでした。まだ20代前半の私には、組織を動かす力もなく、「仕方がないこと」と頭で理解しながらも、個人的にはハートブレイクを繰り返すような体験でもありました。

そのときに、繰り返し、自分に問いかけていたことがあります。

「私は何がしたいんだろう？」

「私にできること、得意なこと何だろう？」

自分に軸を持たないと、流れの中で見失ってしまう……

そう思ったのです。

私が好きなのは、お客様との関係を築くこと。

好きで得意なのは、話すこと、特にセミナーで伝えること、でした。

小さな核のようなものを見つけた私は、退職して自営業になります。新しい出会いや、他のメーカーの考え方に触れることができました。

そして、3年ほど経って、また会社に勤めようと思いました。
営業やマーケティング等、「まだ学んでいないことが、たくさんある」と思ったのです。

2. 転職とマネージャー経験（30代）

30代前半の外資系の会社で、セールスになりました。
お客様との関係を築いていくことは、大好きです。
また、社内全体、業務に関わっている人すべてとの関係を築くことが大切だ、ということも、よくわかるようになっていました。

そして、セールス・マネージャーになり、責任を持つことや、コミットメント、公平性等を毎日考えることになりました。外資の会社では、ある日突然、本社の方針で、社内ルールの変更が通達されます。人事も大胆で、突然のリストラのようなことも何度か目にしました。

「心の通った形で、客観的に判断するには、どうすればいいのか？」

多くのことを毎日毎日学びました。
様々な国の人たちが一緒に働く外資系の会社で、このような毎日を過ごせたことは、本当に貴重な体験だったと思います。
そしてある日、大きな組織変更があり、新規立ち上げの部署に異動になりました。
本社の方針が大きく変わったことで、これからこの会社は私のやりたいこととは違う方向に行くのだということがハッキリわかったことと、一瞬部下がいなくなったことで、
「今だ！今なら、きれいに辞められる」と思い、退職することにしました。

そして、一年休もう、と思ったのです。
同じ業界ですぐに転職して、また忙しい日々を過ごすより、次に行くための「自分の軸を深く確認すること」の方が私には重要でした。一年休んでも大丈夫な貯金も十分ありました。ブランクがあっても、本当に軸を見つけて

本気になれば大丈夫、という確信がなぜかありました。

「お金はついてくるもの」だと、なぜか知っていました。

これは、セールスをしていた頃、今期の目標を追いかけると達成するのは困難になるけれど、数字は付いてくると信じて、やるべきことをすべてやっていけば、自然と達成するものだ、と体感していたからです。

一方で、お金のことを知らなすぎる、とも感じました。

マネージャーとして、コスト管理や、フォーキャスト（目標達成予測）、バジェット（予算）等と向き合いながら養ってきた現場での数字感覚。

一方、株主への還元等を強く意識する財務の人たちとの会話で、それとは違う視点のお金の知識がないと気づいたのです。

3. ファイナンシャルプランナーとの出会い

一年休もう……でも何もしないのは、なんとなく罪悪感があるし、親にも心配をかけます。そこでファイナンシャルプランナー（FP）の学校に行くことにしたのです。そのときは、「FPになろう」とは決めていませんでした。

何か仕事に繋がればラッキーだけど、どちらにしても自分のためにはなるし、心安らかに一年休むために……というのが、理由でした。

FPの学校の初日に、先生が言ったことが、強く印象に残りました。

「FPという資格は、広く浅く知識をカバーするものです。例えば、税金の話だったら、FPよりも税理士の方が深い知識を持っています。でも、相続で相談してきたお客様に、例えどんなに税金に有利なアドバイスをして、それだけではダメなんです。そのお客様が現金を必要としているなら、税金面だけでなく、現金化しやすいもので相続できるようにアドバイスをしてあげる必要があります。1つの専門知識だけではカバーできない部分のバランスがとれるようになるために、FPの知識があります。」

「今では、いろんな仕事をしている人がFPの資格を持つようとしています。

税理士、不動産、保険、証券会社……FPの資格を持つことで、1つの専門知識だけでないトータルな視点が持てるようになるため、会社から言われてここに来た人もたくさんいるでしょう。」

「ですから、F Pの資格単独だけで食べていくのは難しい、と思ってください。もし独立しようと思うなら、資格は必ず『T字』で持つこと。F Pは広く浅くのTの横軸の部分、それを支えるT縦軸の部分も必要です。いま縦軸の部分を持っていない人は、何なのかを真剣に考えてください。」

へえ、そうなのか……と思いました。

「もし仮に、私がF Pで仕事をしていくとしたら、縦軸は何になるんだろう？」

ちなみに、F Pには分野が6つあります。

「金融」「保険」「税金」「相続」「不動産」「ライフ（年金）」

私が一番興味があったのは「ライフ」でした。お客様との関係を築きサポートすることは、私がやっていきたいことです。

そして、できれば長く仕事ができるものいいな、と思いました。

I T業界は、遅い時間から始まる会議も普通のこと、わりと体力勝負なところがあります。そのため、説明や対応がきちんとできるなら、比較的若い人の方が重宝がられる傾向があります。

「自分の年齢を重ねていくことが、プラスになっていく」

これからは、そんな仕事がいいなあと思っていた自分に気づきました。

ライフの分野で扱うのは、「ライフプラン」と「年金」です。

私には、この「ライフプラン」が、他の分野を考えるとときにも一番ベースになるものだと思えました。そして、「それをベースに本当にサポートできたら、なんて素敵なことだろう」と思いました、

F Pの資格をとって、当初自分が考えていた休息期間の終わりが近づくにつれ、「そろそろ社会復帰しなくては……」と思い始めました。

私は、まだ収入が得られる、次の自分の軸を得られていないと感じていました。実際同じくらいの年収を得ようとすると、I T業界に戻るしか道がありません。

「仕方がない。数年I T業界に戻ろう。」と、面接に行きました。順調に社長面接まで進んだのですが、そのとき社長さんから意外なことを言われました。

「あなた、この会社に来たいって思っていないでしょ？」と……。

「いいえ、そんなことはありません」と答えましたが、社長さんには私自身も気づいていなかった本音を見抜かれていたのでしょう。

帰りの電車で、よく自分の心を覗いてみたら、「確かにその通り！」と思った

のです。また以前の生活に戻る……3年くらいで辞めるつもりで受けていたのです。

「3年後、新たな道を選ぼうと思ったときに、自分の気力、健康、お金……そして両親そろって健康でいること、このすべてが揃っているとは限らない」そう思いました。何より、自分の本心に気づいてしまったら、「もう戻ることはできない」というのが正直な気持ちでした。

「じゃあ、どうする？」

電車の中で自分に問いかけたのを、今でも覚えています。

4. ファイナンシャルプランナーへの転身

そのときに、FPで独立するとしたら……という可能性を、初めて本気で考えました。

30代半ばで、まったく異なる業界に転身するには、何か私なりの「売り」が必要です。今からまた会社で働くというのも、「違う」と思いました。

もう一度、自分の好きなこと、得意なことを棚卸ししてみよう！……そう思ったら、やはり、「セミナーで話すこと」というのが、得意で好きなことだったのです。

その頃、ちょうど確定拠出年金が導入され、説明する講師が必要とされている時期でした。

「ここからなら、違う業界でも入れるかもしれない」と直感しました。

「金融にすごく詳しい」という人が、一般の人に「わかりやすく説明できる」とは限らないからです。

おかげさまで、時代の流れとうまくマッチして、転身することができました。それから、T字の縦軸となる社会保険労務士の資格をとったりしながら、少しずつ仕事の幅が広がり、気づけば、様々な企業等でセミナーをさせていただき、既に1500回以上となりました。

また、私の声は「とても聞きやすい」と、よくほめていただくことがあって(笑)、それも嬉しく思っています。

そして10年以上。いろんな方とお話することで、多くの人が「お金のことはよくわからない」と思っていること、そして、「どこかに正解がある」と思い込んでいることがわかってきました。

でも実は、どこかに正解があるのではなく、まずは「あなたが、どうしたいか」の方がずっと重要です。

あなたは、何を大切にしたいですか？
そして、お金のことをどう思っていますか？

時代の変化の中で、価値観が多様化し、ライフスタイルも人もさまざまです。これからますます大きな変化や、やむを得ず、今とは異なる選択を迫られることもあるでしょう。
そのとき、お金とどう向き合っていくのか？

あなたにとってのベストな答えは何なのか……
それを見つけるヒントになればと願って、この文章をお届けします。

第一章： お金って何？

あなたは、普段「お金」をどういうものだと思っ
ていますか？
お金（の本質）について、じっくり考えた
みたことはありますか？
毎日使っているものなのに、意外とち
ゃんと向き合ったことがない……
いえ、考えたくないものかもしれません。

お金には、さまざまな側面があります。
ある人にとっては生活するためのもの、
ある人にとっては単なる数字、ある人
にとっては感謝を伝えるため等……い
ろんなとらえ方があるということに、
気づいていましたか？

あなたにとって、お金とは何でしょう
か？

1. 生活のため

一般の人にとって、お金は「生活する
ためのものだ」という感覚が深いところ
にあるのではないのでしょうか？今の
仕事をしている理由を聞いたら、「お金
を得るため＝生活のため」と答える
人が結構多いのではないかと思います。
その証拠に、「お金の問題さえなけれ
ば」今の会社を辞めるのに、本当に
やりたいことができるのに、今すぐ
離婚するのに（笑）……等、心に
浮かんだことがある人は多いでしょう。
「宝くじが当たったら」というのも、
近い気持ちから来ていると思います。

2. 必要なもの

現在、ものや情報をやりとりするには、
お金が必要になります。お金を介さ
ずに行われるものは、ごく親しい間
柄くらいで、あらゆるものは、お
金で動くといっても過言ではないか
もしれません。そのため、あなたも
「お金で買えないものは、ない」と
いうフレーズを聞いたことがあるの
ではないのでしょうか。そう強く刷
り込まれてしまうくらい、お金の
存在が生活に密着しているため、
「お金がない＝生存に関わる恐怖」と
無意識に反応してしまいがちです。

3. 便利な道具

その昔、物々交換していた時代から、貨幣が生まれ、人々の生活は飛躍的に広がりを持つようになりました。流通がスムーズに、早く、広い地域で流れるようになったのも、お金という道具ができたからです。

また、多くの人たちから、募金等の形で協力を得たり、大きなものを動かすことも世界中でできるようになりました。

現代の私たちは、その恩恵を受けている、とも言えます。

4. 感謝や応援

私たちは、受け取るものに対する対価や、お礼としてお金を払ったりします。誰かに「ありがとう」と感謝を伝えたり、「あの人の喜ぶ顔が見たい」とプレゼントを選んだり、大ファンのスポーツ選手や芸能人を「応援したい」と思って何かを買ったりするとき、お金は「感謝や応援を伝えるためのもの」になります。

5. 器・大きさ

不思議なもので、お金が流れる大きさは、人によって違います。

いつもお金の流れが小さく、最低必要なものだけで生活している人。

適度な大きさと、それなりにゆとりも持ちつつ、分相応な暮らしが快適な人。

大きなお金を受け取り、大きく与えて、スムーズにそれらを最適な形で流していくことで、自分だけでなく周りの多くの人に喜びを与えている人。

こうして見てみると、お金を扱う「器」のようなものがありそうです。

どれが良い悪いとか、上とか下ではありません。

ただ、お金の流れを大きくするには、情報やハウツーだけではなく、自分の器を大きくすることも大切になってきます。

6. エネルギー

お金は、ものやサービスと「交換する」という性質があります。
ものが動くとき、同時にエネルギーも動きます。
また、お金を払ったり受けとるときには、感情も動きます。
実は、お金は「エネルギーが形になったもの」と言うこともできます。
お金を単なる金額として捉えているだけだと、本質を見逃してしまうかもしれません。

ここまで、お金のいろいろな側面について見てみました。
まだ他にもあるでしょう。

『あなたにとって、お金とは何ですか?』……

その答えを探す手掛かりとして、あなたのご両親は、お金をどう考えていたのかを考えてみると、いろいろ見えてくるものがあります。
ご両親の価値観は、あなたが思うより大きな影響を与えているものです。

良ければ、ぜひ一度、ゆっくりと考えてみてくださいね。

第二章： お金と感情

あなたは、どこかで「お金は私の知らないところで、勝手に決まって、勝手に動くもの」と思っていないですか？ お金は、実は感情で動いています。

「そんなことより、早く結論を教えてよ」「結局何を買っておけばいいの？」……その気持ち、よくわかります（笑）

でも、その前に、大事な話をもう少し。

あなたは、今までもお金についての本を読んだり、知識を得たりしていませんか？

なのに、なぜかいつも「しっくりこない」……だからまた不安になる。

「やっぱり、お金のことはよくわからない」その堂々巡りの理由を知りたくありませんか？

あなたにとってのお金の流れを知るには、まずはあなた自身（感情）を知ることが大切です。

1. 不安

なんとなく、将来に対する不安を感じることはありませんか？

「またボーナスが下がった」「年金は大丈夫なの？」「こんな年収じゃ結婚できない」……そんな心の声が聞こえてきたとき、あなたならどうしますか？

「考えたって仕方がない」と見ないフリ……

「なんとかなる。大丈夫。」が口癖で、「もっと頑張ろう」と思う人。

「なんとかしなくちゃ」と計画を立て、電卓を叩き、節約に専念する人。

「よくわからない」と頭が真っ白になって、何もできない人。

「社会のせいだ……」と悲しくなって、絶望感を一人抱えて、ひきこもってしまう人。

反応は人さまざまですが、だれも不安の本質と向き合うことは、あまりしていません。

不安は、目を背けていると、いつの間にかどんどん大きくなる、お化けのようなどころがあります。不安だから使わない、不安だから貯めておく……
そのセンサーばかりが強くなってしまうと、あなたにとって本当に大切な、かけがえのないものまで、手にするチャンスを失ってしまうかもしれません。

実際、私のセミナーでも、20代前半の男性から「老後はいくら必要なんですか？」と真剣に質問されることが何度かありました。堅実なのは大切かもしれませんが、社会に出たばかりで可能性に溢れている、その可能性こそが資産だということに、本人が気づいていないのは、とても残念に感じます。

人生の可能性、今しかできない体験、人との出逢い、それらのために使うお金は、あなたにとって、本当の意味での「財産」をつくってくれます。
金額だけではない、お金の価値に対してオープンでいきましょう。
何事もバランスが大切ですよね。

そのために、まず「自分は、何がどの程度不安なのか？」
実際のところを書き出してみる、というのも良い方法です。

例えば、「ここ数年は特に問題ない」状態なのであれば、将来の不安にエネルギーを注ぐのではなく、ここ数年でやっておきたいこと、大切にしたいことにエネルギーを注ぎましょう。
それによって、数年後の状況も変わる可能性があるからです。

2. ストレス

「お金の心配」というのは、大きなストレスです。

一家の生活を支えるため、やりたくない仕事を続けている。
専業主婦で収入がないため、言いたいことも我慢する。
夫の収入を超えないように気を遣い、自分の表現を制限している。
いつも次の支払いに追いかけている気がする。 …等

こんな状況では、「本来の自分に正直に生きる」なんて、夢のまた夢。なんのために生きているんだろう？……と空しくなるかもしれません。ストレスの中にいたまま、解決策を見つけるのは難しいものです。一度ゆっくり、一人きりになって、自分と対話する時間を作ってみましょう。

「もし、お金の心配がなかったら、本当はどうしたいのか？」という質問を、自分のハートに問いかけてみてください。そして、少しずつストレスによって奪われていたエネルギーを取り戻しましょう。ほんの少しでも、できることがあるはずです。そこから始めましょう。

まずは、家族に正直に話すことかもしれません。一日15分は一人の静かな時間を持つことかもしれません。本当に小さな一歩で構いません。

ストレスの渦から一瞬出て、違う視点で今の状況を見てみるのが、新しい一歩へと繋がります。

3. 比較・競争・優越感

現代では、お金をたくさん持っている人ほど偉い人、という感覚もあります。出世すると年収も上がり、権限も増えます。同期や親戚の中で、誰が一番稼いでいるのか？が話題になって、なんとなく嫌な気持ちになった経験が一度くらいはあるでしょう。

私たちは、子供の頃から比較されて育ちます。

〇〇ちゃんの方が優秀だ、〇〇ちゃんの方が可愛い 等……

テストの点数が良いと何かを買ってもらえたり、ほめられたりするものです。

「親から受け入れられること」は、子供にとって最も重要なことなので、

「誰かに認められること」は、大人になってからも最重要事項になりがちです。

場合によっては、反発心が大きくなって、「アンチ〇〇」になることもあるかもしれません。

「お金持ちは悪い人だ」「肩書きよりも中身で勝負」「清貧の方が上だ」……これらも結局、比較・競争していることになかなか気づけません。

まずは、お金と自分の価値を結びつけてしまうクセに気づきましょう。
脇目もふらず仕事第一で、もし仕事を失ったら、抜け殻のように感じる人は、
心の中で恐れを抱いています。
稼げない自分には価値がない……それは本当でしょうか？
一度時間をとって、どんなふうにお金と自分の価値を結びつけているのか、
自分のハートに聞いてみてください。

何の条件も付けずに、ただありのままの自分を認めて受け入れる——
それができると、まわりのことが気にならなくなります。
誰かに認めてもらう前に、まず「自分で自分を認めてあげること」から始めま
しょう。それができると、不思議とまわりの人もあなたを受け入れてくれるよ
うになります。
「まわりの価値観で自分を見る」というところに注いでいたエネルギーを、
ただシンプルに「私がやりたいから、そうする」という「自分の価値観」に
注いでみましょう。
今まで、いかに自分の本質とは関係のないところに、多くのエネルギーを注い
できたかに気づいて、愕然とするかもしれません。

誰かとの比較をやめると、シンプルに、自分にとって必要なお金と向き合う
ことができます。

4. 被害者意識

今のお金の状況になったのは、誰かのせい、だと思っていないか？
親のせい、会社のせい、不況のせい、政治のせい……等。
確かに、あなた自身の力では、どうにもできなかったこともあるでしょう。
でも、誰かのせいにしていて、解決するかというと、そんなことはありません。
自分で責任をとらずに、誰かに責任をとってもらうのは、ある意味、楽で
居心地のいいことかもしれません。

誰かが変えてくれるのを、じーっと待つだけで解決するでしょうか。
そんなことないかもしれない、とどこかで気づいていませんか？
それでも、「あの人が変えてくれるべき」という強い想いがあるとしたら、
注意深く、自分の心の中を見てみましょう。

そうしていることで、自分の無能さや「私にはできない」という感覚と向き合いたくないだけかもしれません。

もしかすると、誰かに無理難題を押し付けることで、密かに復讐しているだけかもしれません。

本当は、悲しかったり、寂しい気持ちがあるのを表現できないだけかもしれません。

あなたは、今の状況を変えたいのですか？

それとも、自分は被害者だと認めてほしいのですか？

……冷静に考えてみると当たり前のことですが、あなたが、もし本気で「状況を変えたい」と思ったら、あなたができることから始める必要があります。

「被害者的な感覚」のままでは、何かを変えるのは難しいものです。

5. 混乱

お金について、こんな思い出はありませんか？

子供の頃、好きなものを買ったら、「こんなくだらないものを買って」

「貯金しなさい」「あなたのお金だから、好きなものに使っていいのよ」……矛盾したことを両親から言われた。

ずっと夢見ていた大事なものに大きなお金を使ったとき、

「すごいね！おめでとう」「へえ～、よく決断したね。大丈夫なの？」

「私にはできないなあ」等、友人たちから何気なく言われた言葉に、気持ちが揺れた。

お金の価値観には正解がありません。

世の中には、情報があふれています。お金についても、いろいろ話を聞いたり、学んでも、「結局どうしたら良いかわからない」そんな人も多いものです。

他にも、知識や答えがどこかにある気がして、行動ができないとしたら、何が原因なのでしょう？

そういう人の多くは、「間違えたくない」と強く思っている傾向があります。その話が本当なら、絶対大丈夫と誰かが保障してくれるなら、やってもいいけど……等と、心の中で思っていたりします。

未来のことは誰にもわからないので、専門家でも意見は異なるものです。また、状況は日々変化しているので、今週と来週では専門家の判断が変わることもあるでしょう。情報を鵜呑みにしたり、疑ってばかりいると、結局どうすればよいかわからず、結局動くことができません。

「誰かに教えてもらったりアドバイスしてもらおうこと、情報を得ること」と、「誰かに決めてもらおうこと」は、同じではありません。

不確定要素がたくさんある前提の中で、何かを選ぶのだとしたら……
良くても悪くても、その結果が自分の人生に影響があるのだとしたら……
自分の人生を人任せにすることは、できませんよね？
お金のことを考えるのは、「自分の人生について考えること」とほぼ同意語です。

なぜか、お金に対しては、無意識に誰かに責任を求めてしまう。
そんな傾向がある人は、知らない間にだんだん不安が大きくなっていきます。
なぜなら誰も責任をとってくれないものだからです。もしかしたら、お金とどう向き合っていけば良いか、混乱しているだけかもしれません。

お金は、必要な情報だけでは、自分にじっくりくる答えを見つけることができません。自分の価値基準を持つことも大切です。
答えは自分で選択する、ということを覚えておいてください。

6. 愛・感謝

あなたは、お金を「愛や感謝の表れ」と思ったことがありますか？
例えば、心からのサービスを受けたり、感動したときに、お金を支払うときは「本当にありがとう」と感謝の気持ちが湧いてきます。
また、お金を受け取るときにも、「ありがたい」と感じたり、人からの応援と一緒に受け取って感謝することもあります。

親から（親への）仕送りには、愛情が込められています。思いがけないギフトに胸が熱くなったこともあるでしょう。

普段、どのくらいの頻度で、愛や感謝でお金を渡したり、受け取ったりしていますか？

金額の大小にかかわらず、少しずつその感度を高めていけたら、平安にお金と向き合うことができます。

7. 「お金の不安」が大きくなる人の特徴

お金と感情について、いろいろ見てきました。

私は、今までいろんな人の話を聞いてきて、感じていることがあります。

それは、実はお金の知識や情報よりも、「お金に対する思い込みを解くほうが大切」なのではないか、ということです。特にこれからは、「お金の不安」というものと、ニュートラルに向き合えることがとても大切になってくるでしょう。

ここでは、お金の不安が大きくなる人の3つの特徴をお伝えしたいと思います。

1. お金に関して「正解」がある、と思っている
2. 自分のお金について、ちゃんと考えたことがない
3. お金に対して、過度に価値を与えすぎている

あなたに思い当たること、当てはまる場所はありますか？

もしあるのなら、どこからそれが来ているのか、一度確認してみると、いろんな気づきが得られると思います。自分が、どんなメガネをかけて、お金というものを見ているのか？

それがわかるだけで、かなりスッキリするはずです。

その上で、「何を選ぶのか」あなた自身が決めていきましょう。

第三章： あなたにとっての「幸せ」って？

以前、マネーカウンセリングをさせていただいた30代の女性から、こんな質問を受けたことがあります。「こんなことを聞くのは、とても恥ずかしいんですけど……どうして貯金ってしなくちゃいけないんですか？」

彼女は、比較的年収の高い、有能な会社員。

よくよく話を聞くと、「老後のためにお金を貯めなくちゃいけない、というのが正直よくわからないんです。私は働いて、ちゃんと稼いでいるのに、そのお金をなぜ好きなように使ってはいけないのかな？って、どこか納得できないんです。」

私の答えは、「貯金は、やりたいことをやるために、するんですよ。」でした。

人生には、イベントがあります。結婚、出産、マイホーム、老後 etc. …… イベントにはお金がかかりますね。ある程度のお金があると、「やりたい」と思ったことが出てきたとき、自由に選択できる範囲が広がります。

「今、本当に欲しいものにお金を使っていますか？よく考えてみて……もしかしたら、ストレス解消等で、それほど欲しいわけでもなく、衝動的に買ったりしているかもしれないですよ。そして、本当にやりたいけれど、ちょっと高いものは、残高が減るのが恐くてできない……なんだか変じゃありませんか？ 貯金は、老後のためにも必要かもしれないけれど、本当にやりたいことをやるために、するんですよ。」

「あ～、そうか！ 初めて腑に落ちた（笑）」
たったこれだけの会話で、次回彼女と会ったとき、「前からやりたかった○○に申し込みました」と、嬉しそうに話してくれました。

「貯金」一つとっても、その人によって、意味合いはさまざまです。

多くの人が「お金を得たい」と思う理由は、「お金があれば、もっと幸せになれる」と思っているからです。

その「幸せ」とは、どんなものかじっくり考えてみたことはありますか？

1. あなたが求めているものは？

あなたが「お金が欲しい」と思っているとき、心の中では何と言っていますか？
〇〇の資金が欲しい、不安を解消したい、実力を証明したい、誰かを見返したい、とにかくお金さえあれば……等、人それぞれに心の中で本当の願いを唱えているはずですが。あなたが本当に欲しいのは、お金ではなくて、その心の中にある願いのほうです。

あなたが欲しいのは……

安心、幸せ、充実感、自由、優越感 etc.

それを、じっくり見てみてください。

それはお金でないと得られないものですか？

もしかしたら、もっと別の形で得られるものかもしれませんね。

お金を得ることでしか、それを得られないと思い込んでいることが、いろんな可能性を閉ざしているのかもしれません。

あなたの本当の願いは何でしょうか？……それを明確にしておくこと、もっと柔軟に考えることができるようになります。

2. あなたの好きなこと・望み

自分の望みがわからない……そんなときもあるかもしれません。もしかしたら、無意識に「望んではいけない」と、自分に言い聞かせている可能性もあります。

自分の本音がわからないまま、お金だけが欲しいと思っただけで……

お金を手にして、あなたはどうしたいのでしょうか？

あなたの本当の望みは何ですか？

あなたは何をしているとき、心から楽しい、幸せだと感じますか？

ぜひ一度、ノートに書き出してみてください。

H a v e (〇〇が欲しい、〇〇を買いたい)

D o (〇〇をしたい)

B e (こうありたい、こんな状態でいたい)

そうすると、あなたの「お金がほしい」の奥にある、本当の願いが見えてきます。

3. 夢・ビジョン

あなた望み・願いの本質に近づいていくと、あなたの夢やビジョンが見えてくるはずですよ。

「世界が〇〇な感じだと素敵だな」「こんなことが実現できるといいな」最初は、ぼんやりとしたものかもしれません。人に言うのは恥ずかしいような、大それたことのように感じるかもしれません。でも、自分の心に正直に、それも感じてみることで、お金に対する感じ方が変わってきます。

今自分がしている、大したことないと思っていた仕事が、その夢やビジョンに行き着くための過程だと思えたら、毎日の過ごし方が変わってきます。

ほんの少し変化するだけで、お金を受け取る時の感情が変わってきます。

そこから、お金を使う時の感情も変わってくるでしょう。

そのことが、今までとは違う「お金の循環」の最初の一步になります。

お金が流れる大きさ・器は、実はこんなところと繋がっています。

4. あなたの価値観・大切なこと

多様な価値観が受け入れられる時代になって、ライフスタイルも個性的になってきました。自由に選択できるのは、幸せなことですね。

例えば、40歳・男性と言ったとき、「こんな感じ」という固定イメージが当てはまらなくなってきました。

ここに、同年齢、同年収のAさん、Bさんがいるとします。

そうだとすると、職業や家族構成によって、お金のプランは当然異なります。

もし仮に、家族構成が同じだとすると、価値観が異なれば、どこにお金をかけるのかは違ってきます。

例えば、あなたはお子さんを育てるとき、どんなポリシーをお持ちですか？

「健康第一」「教育にはお金を惜しまない」「食が大切、質の良いものを」

「家族団らんの時間を充実させたい」「自然と触れる」……等、何を大切にしているかによって、お金の使い方は違ってきます。どれが正解というものではなく、それはその人の「生き方」価値観に通じるものです。

あなたが大切だと思うことは、何でしょうか？ これを明確にしておく、振り回されずに自分の基準で考えることができます。

5. 自分の軸を持つ

ライフスタイルや価値観だけでなく、社会構造も変化してきています。昔のような、終身雇用、右肩上がりのプランは、もうすっかり過去のもの。その代わりになるようなモデルは、描きにくい時代。

外に答えを求めても、難しい。

答えは、あなたの中にあります。

あなたが、「これだけは譲れない」というものは何ですか？

何を大切にしたいですか？ どうしていきたいですか？

今心に浮かんでいるものは、一人一人違っているはずです。

その人生観に「あなた」が表れているからです。

その「軸」を是非大切にしてください。

お金の情報を活用するとき、何かを選択するとき、その「軸」が「道しるべ」になります。

第四章： 変化の時代

1. 時代の変化

あなたは、時代の流れというものを意識したことはありますか？

1980年代、日本は高度成長期、バブルへと向かった時代。

1990年代、バブル崩壊後の失われた10年。

2000年代以降、ITが広く活用されるようになり、一瞬で情報のやりとりが世界中でできるようになりました。

時代とともに、社会を支える産業や、価値観、常識のようなものも、少しずつ変化しています。

仮に、20代初めに社会に出て、60歳定年と考えてみた場合、現役時代は約40年。

就職するときに花形だった職業が、40年後も同じであることの方が希だということが、わかると思います。

最近騒がれている年金制度も、時代の変化に合わせて、その都度改正を繰り返し帳尻を合わせてきましたが、明治の時代まで遡れることを考えると、制度の構造自体にそろそろ無理が生じるのも致し方ないのかもしれない。

これからも、社会全体が大きく変化していくことは、自然なことなのだと考えておきましょう。きっと、これからは「変化を受け入れること」がとても大切になってきます。

2. 誰にとっても未知な世界

では、どんなふうに変化していくのでしょうか？

これは、残念ながら、タイムマシーンでもない限り、誰にも正解がわかりません。

大きな変化には、「想定外」「思わぬ事態」という要素が必ず含まれます。すべて想像できるとしたら、それは「予定通り」または「緩やかな変化」です。

未知だからこそ、大きな可能性があります。

でも同時に不安が掻き立てられます。

さまざまな情報の中で、自分で判断すること、信頼できる友人を持つことが、これからは一層重要になってくるでしょう。

3. 変化に備える

第二章の「不安」のところでもお伝えしましたが、現実を把握し、未知な変化に備える感覚と、現在を楽しむ感覚の両方が必要です。

変化に備えるお金——具体的には、どうすれば良いのでしょうか？

例えるとしたら、震災等に備えるときの感覚と似ていると思います。

家具が転倒しないようにしておく

家族で落ち合う場所や、連絡の取り方を決めておく

災害時に持ち出せるものを用意しておく 等

できる範囲で準備をしたら、あとは深刻にならずに、充実した毎日を過ごそうと思いますよね。

お金に関しても、同じことです。

自分の資産について、一度ちゃんと確認しておく

万が一に備えて、分散しておく（現金、預金、株、金 等）

何でも相談できる、信頼できる友人を持つ 等

できることは、やはり基本的なことが中心でしょう。

あとは、ココロとカラダの健康。イザというとき、できるだけ平常心でいられること。それが何よりの備えです。

4. 正解はわからない

これからこんなことが起きそうだ、次はこうなる……どの情報が正しくて、どの情報が間違っているのか、判断するのは難しいものですね。

こんなときに大切なのは、たぶん「ありのままを、そのまま見る」ことです。ハナから馬鹿にして否定もしない代わりに、頭から鵜呑みにはしない。

「どうやら、こんな可能性があるらしい」と、ニュートラルに情報を受け取ってみる。

そして、自分なりに考える、そんな習慣を意識して、普段から毎日のニュースを見てみましょう。

5. ライフプラン（軸を持つ）

そして、あなたの人生の主役は、他でもない「あなた自身」です。あなたの人生の価値を決めるのも、もちろん「あなた自身」です。ご両親や学校の先生、何かのお墨付きや、世間ではありません。

ぜひ一度、ご自身のライフプランを本気で考えてみてください。

今体験できることは、永遠ではない……そうだとしたら、

あなたは何に時間とお金を使いたいですか？

ハートが望んでいるものに、ぜひエネルギーを注いでください。

6. 主体的に選ぶ

お金の話だと思っていたら、いつのまにか人生の話になっていましたね（笑）

実は、それほど「お金」は奥深いものです。

お金を、誰かの言われた通りに人任せにするのは、誰かの言われた通りに生きるのと、似ています。

お金も人生も、主体的に選んでいく——それが「大人になる」ということかもしれないですね。

同じ「自己責任」なら、楽しんで責任がとれる方を選びましょう。

7. 自分の選択に合う、お金のバランス

一般の人にとって、知っておきたいお金の知識は、実はそれほど多いわけではありません。勉強したければ、既に書籍やインターネットに情報はたくさんあります。

でも、そこに書かれていないのは、「その情報を、どう自分に活用していくか」ということ。

モデルに自分を合わせるのではなく、その情報を知った上で、「だったら私の場合はこうしよう」と選択できるチカラ。それこそが最も重要です。

それができて、初めて「じっくりくる、腑に落ちた答え」を見つけることができます。

「あなた」抜きで、その答えを誰かが差し伸べてくれる……
はずはありません（笑）

だって、あなたの人生ですから。

おわりに：

最後までお読みいただき、ありがとうございました。

もしかしたら、あなたがファイナンシャルプランナーに思い描いてものとは、違う内容だったかもしれませんね（笑）

こちらでは、私が一番お伝えしたいことだけに、焦点を絞って書きました。実は、ここに書かれた内容は、私自身も、迷ったら自問自答するものばかりです。

「ライフプラン」は変わっていくものです。何度もここに戻って、また始めてください。

あなたが心から望んでいる、幸せに少しでも近づけますように。今を楽しみ、明日に希望を思い描くことができますように。

このプレゼントが、少しでもお役に立てたなら、こんなに嬉しいことはありません。

※ こちらの文章は、2012年8月に記載したものです。

※ 無断での転記・転用はご遠慮ください。

著者プロフィール：



高田 秀美 (たかた ひでみ)

ファイナンシャルプランナー (FP)。

IT業界で経験を積み、成長期のデルに入社。大手法人向けセールスマネージャーとしてお客様、関連部署、部下等、関わるすべての人が満足しながら数字を達成することを実践で学ぶ。株主への還元等を強く意識させる会社の経営方針に触れ、お金に対する知識がないことに気付き、退職後2001年にFP資格を取得。

他業種からのFP転身後、口コミと紹介だけで10年以上、わかりやすいセミナーには絶大な信頼があり、多くの企業等からリピートで依頼を受け、200社以上・1500回以上のセミナー実績を持つ。

豊富な経験をベースに、「自分らしく生きるためのお金」を、「その人自身のチカラで選択」できるサポートをしている。単なる知識や情報だけでなく、感情面、身体面、スピリチュアルを含むこれからの時代の新しいお金とのつきあい方を導くヒーラーでもある。

高田秀美 主催のセミナーは、こちらからご覧いただけます。

http://www.reservestock.jp/page/event_calendar/1547

高田秀美のフェイスブックはこちら

(フィード購読大歓迎です)

<https://www.facebook.com/hidemi.takada.88>

メール

hidemin@v07.itscom.net